令和6年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市リサイクルプラザ
所在地	下関市古屋町一丁目18番1号
指定管理者	名称 みさかの森自然学校共同事業体
	代表者 代表団体 太平ビルサービス株式会社下関営業所 所長 森川 純二
	住所 下関市細江町一丁目2番10号
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を毎月提出される業務実績報告書及び年間事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	環境部環境施設課
	TEL : 083 - 252 - 1943
	E-mail : kksisetu@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	利用者数(人)	講座開催数(回)								
目標値	72,000	342	74,000	342	—	—	—	—	—	—
実績値	73,263	312	—	—	—	—	—	—	—	—
差	1,263	△ 30	—	—	—	—	—	—	—	—

令和6年度の延利用者数については、目標値比101.8%、前年度比99.4%となりました。悪天候によるイベントの中止や工事による数日間の休館があったものの、イベントや定例講座等の参加者が増えたことにより、目標値を上回っています。今後もより一層の利用促進に努めることを求めます。

環境教育講座開催数については、目標値比91.2%、前年度比94.3%となりました。新規講座の開設やイベントの見直し等の取り組みが行われましたが、目標値には達しませんでした。令和7年度は受講対象者の拡大や開催場所（出前講座等）を増やす等、更なる工夫を取り入れ、目標の確実な達成とともに、環境啓発の促進に向け講座内容を充実させていくことを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、リサイクルの情報及び体験の場を市民に提供すること等により市民の環境意識の啓発を図り、もって市民の自主的な活動の支援と循環型社会の形成に寄与することです。

管理運営業務の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。昨年度より施設利用者数がコロナ禍以前の水準に戻りつつある中で、引き続き感染防止対策にも努めながら条例規則を遵守し安定した管理運営が行われており、総合的に判断して良好と評価します。特に、SNS等を活用した情報発信力は高く、6月、8月、11月に開催された啓発イベントには、毎回数千人の市民が訪れ、大変賑わっていました。イベントでの来館が環境保全を考えるきっかけにつながるため、今後も指定管理者の特色を活かしながら企画運営の充実を図ることを望みます。

収支については、施設使用料や自主事業の実施に伴う収入は目標額に達しなかったものの、経費削減等の経営努力の結果、収支は適正な範囲でした。引き続き、さらなる努力や工夫が継続されることを期待します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

令和7年度についても本施設の設置目的を達成するため、業務のさらなる向上充実を図り、来館者に寄り添ったサービスの提供を求めます。必要に応じ講座やイベント参加者を対象としたアンケートの項目や実施方法を見直す等により、積極的に利用者のニーズを把握するよう努め、新規利用者の獲得や環境教育事業の企画運営の充実につなげていくことを期待します。ハード面では施設自体の老朽化による修繕の件数は増加すると見込まれますが、市と情報共有を行いながら、安全性や快適性を維持していくことを求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の設置目的に沿って適切に運営されていました。利用者への対応については、市民が公平・平等に利用できるよう努力されていました。施設の運用面では、厳しい社会情勢の中でもSNS等を活用した効果的な広報活動により、延利用者数は目標を上回りました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

環境教育事業や自主事業が適切に実施されていました。講座の開催にあたっては、季節に合わせた内容にするなど受講者を飽きさせない工夫がされていました。特に、施設の有効活用及び利用促進を図るための自主事業を積極的に実施しており、リサイクル教室や啓発イベントでは短時間で予約が満員になる講座も多く、幅広い年代にとって魅力的な企画となっていることは高く評価できます。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

効果的・効率的に業務を遂行するために必要な人員配置や管理体制を維持し、関係条例、規則などを遵守して適切に管理されていました。また、他自治体への視察や定期的な研修・ミーティングを行い、職員の専門性及び資質向上に努めていました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用料金等の収入や施設管理費等の支出、施設の使用許可については適正に処理されています。令和6年度は手続きの遅れによりWi-Fi事業が計画どおりに実施できていない期間があったため、今後、同様の事案が発生しないよう職員間での情報共有とチェック体制を強化し、適正な事務の執行を求めます。その他は基本協定書等に基づき、指定管理者が実施すべき業務が問題なく行われていることを確認しました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検や修繕が適切に実施されており、不具合が生じた場合は適宜市へ報告が行われています。また、緊急時に迅速かつ適切な対応がとれるよう、連絡体制や対処マニュアルが整備されています。

社会性(環境等への配慮)

照明や冷暖房は必要な場所にだけ使用するなど来館者の利便性を損なわない範囲での節電とあわせて、1階にはゴーヤのグリーンカーテンを設置し、省エネ及び環境に配慮した取組みを自発的に行っています。さらに、市の環境学習・環境保全活動の拠点として講座やイベントを開催するだけでなく、リサイクル品やフェアトレード商品の販売事業も行っており、来館者から好評を得ています。

事業収支

経済性

支出は昨年度比で増加しており、収入は施設使用料や自主事業収入が計画を下回りましたが、経営努力によりほぼ収支均衡となるレベルとなりました。安定的かつ継続的に本施設を管理運営できる範囲内であると認められます。

団体の経営状態

経営の健全性

共同体を構成する3つの団体から提出された決算報告書などを分析した結果、一部団体の財務状況においてその原因の把握及び改善が必要と考えられる項目が認められるものの、指定管理者として業務を継続することについて、現時点では支障がないと判断しました。